

TURNING

MILLING

ULTRASONIC

LASERTEC

ADDITIVE MANUFACTURING

AUTOMATION

TECHNOLOGY EXCELLENCE

DIGITIZATION

CELOS

ADAMOS

SERVICES

DMG MORI QUALIFIED PRODUCTS

第70期 株主通信

2017年1月1日●2017年12月31日

お客様にとって一番の
工作機械メーカーであること。
それが私たちのグローバルワンです。

工作機械の総合メーカーとして、DMG森精機は常に変革と挑戦を続けてまいりました。そして今、私たちが目指していること。それは、お客様にとって一番の工作機械メーカーになることです。最高の技術とサービスを絶えず追求し、工作機械の新しい価値と無限の可能性を、世界中のお客様へお届けしてまいります。

取締役社長
博士(工学) **森 雅彦**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。
ここに第70期(2017年1月1日から2017年12月31日まで)の
株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

Q 2017年12月期の業績は?

当連結会計年度(当期)における業績は、売上収益は429,664百万円(3,391,193千EUR)、営業利益は29,391百万円(231,976千EUR)、税引前当期利益は24,803百万円(195,769千EUR)、親会社の所有者に帰属する当期利益は15,263百万円(120,469千EUR)となりました。工作機械関連の受注金額は4,483億円で、前年度比22%増となりました。周辺装置・テクノロジーサイクルなどを含む機械本体の受注は同30%増加しました。受注台数の増加に

加えて5軸加工機、複合加工機など高付加価値・高機能機などの機種構成が上昇したことやソリューション提供により受注単価が向上したことなども受注金額の増加に繋がりました。需要環境は、国内は43%増、米州は22%増、欧州は25%増、中国を含むアジアは34%増と各市場ともに好調に推移しております。半導体製造装置関連やロボット、搬送装置などの自動化関連設備向けの需要が大きく伸長し、それに関連する一般機械部品企業、SMEs(Small and Medium-sized Enterprises)向け需要増にも波及してまいりました。エネルギー関連向けの需要のみ回復が遅れましたが、航空機、医療関連、

※ ユーロ建表示は2017年1月～12月の期中平均レート126.7円で換算しております。

自動車関連、建設機械関連需要も引き続き堅調を維持いたしました。

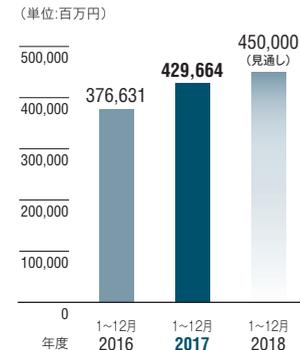
Q 2017年の技術と成果は?

技術面では、5軸加工機、アディティブマニファクチャリングなどの先端機械で先行し、機械の加工精度のバラツキを最小化するなど品質向上に努めました。5軸制御マシニングセンタDMU 50 3rd Generation及び横形マシニングセンタNHX 5500 / 6300 2nd Generationにおいては、自社開発の高性能主軸「MASTERシリーズ」を標準搭載して切削能力を大幅に向上、12インチチャック搭載の複合加工機NTX 3000

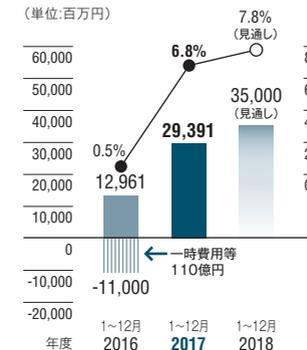
2nd Generationでは工具主軸・ワーク主軸の両方に「MASTERシリーズ」を使用し、高速で正確な加工を実現しております。さらに、より安心・安全かつ快適に製品をお使いいただくために、2018年1月よりこの「MASTERシリーズ」の無償保証期間を2年から3年に延長いたしました。また、周辺装置のアプリケーション・ソフトウェアも充実させるなど、お客様の要望に沿った一連のシステム・サービスを通じて価値を提供する、工作機械のリーディングエンジニアリングカンパニーとしての地位を築いております。

販売面では、お客様の経験価値を高めることに努め、各種展示会においては、業種別、ワーク別の加工方法や、自動化システムなどを提案しました。9月の独国・ハノーバーでの、世界最大の工作機械

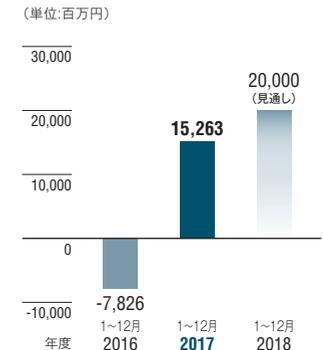
連結売上収益



連結営業利益



親会社の所有者に
帰属する当期利益



(注) 2016年に発生した一時費用等は重複資産の整理やノンコア事業からの撤退に伴う費用となっております。

見本市EMOショーでは、単月受注としては過去最高の受注を獲得しております。11月には独国・ゼーバッハ工場、米国・デービス工場、露国・ウリヤノフスク工場にて自社展示会・ソリューションセンタ見学会を行い、医療業界や金型業界、航空宇宙産業をはじめ多くのお客様からご好評いただきました。さらに、同月にグランドオープンした上海テクノロジーセンタでは、約1,700㎡の敷地にソリューションセンタ、DMG MORIアカデミー、ターンキーエリア、スベアパーツ部門を整備し、中国及び周辺諸国のお客様への製品・ソリューション提供体制の強化を図っております。

企業づくりの一環として、人材育成、有給休暇取得の促進、残業ゼロへの取り組み、社内託児所の整備などを推進しています。人材育成においては、TQM(Total Quality Management)、OJT(On the Job Training)などを強化しました。また、コネクテッドインダストリーズ、人工知能(AI)などの分野を強化するために、東京グローバル

ヘッドクォーターに先端技術研究センターを設立し、10年先、20年先の技術対応も進めております。

第70期の期末配当につきましては、2018年10月に創立70周年を迎えるにあたり、記念配当を実施いたします。これにより、2017年12月期は1株当たり中間配当金15円、期末配当金25円(記念配当10円含む)の年間40円といたします。

Q 2018年の技術と市場は？

原油価格など商品市況は上昇に転じており、今後はエネルギー関連向け工作機械の需要も増加に転じるものと期待しております。2018年は、4,500億円の連結売上収益を予想しております。

事業戦略として、電気自動車(EV)へのシフト、AIの発達、高齢化など、社会の変化への対応を迅速に進めております。こうした社会の変化は、素材や加工方法に変化をもたらし、新たな

製造設備の需要が増大するものと考えられます。

変革する社会の中で重要な役割を果たし続けるため、5軸加工機の普及、搬送の自動化、加工や計測の工程の複合化を推進し、複雑な加工を高精度・高効率に実現できる生産工程を包括的に提供する企業を目指してまいります。

また、コネクテッドインダストリーズ/インダストリー4.0への対応も継続して強化しています。産業用IoTプラットフォーム「ADAMOS」は複数の機械データの一元管理を可能にし、保守や生産計画の精度向上や機器の故障予測に寄与します。また、パートナー企業とのオープンイノベーションにも積極的に取り組み、多くのお客様の課題解決に向けた提案を進めております。

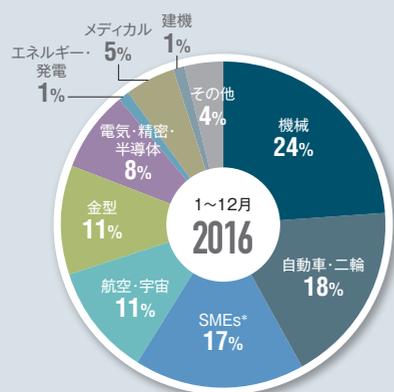
産業育成においては、森記念製造技術研究財団を通じた研究助成、人材育成を継続しています。“よく遊び、よく学び、よく働く”をモットーに、有給休暇の完全取得継続、年間総労働時間2,000時間以下の達成、社内託児制度や教育システムを

充実させてまいります。

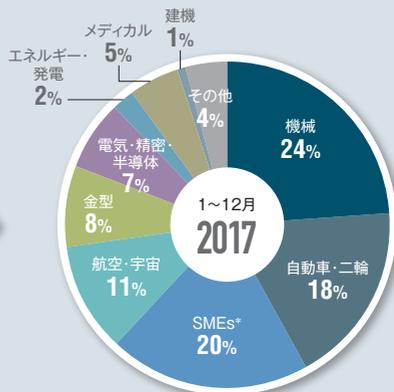
さらに、業界のリーディング・カンパニーとして、幅広いステークホルダーの期待に応えるべく、SDGs(Sustainable Development Goals)への取り組みを強化しております。直近の取り組みとして、外為法の規制にかかる輸出管理をより強化しました。利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況などを総合的に考慮し、安定的にかつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。また、内部留保資金につきましては、コアとなる新製品や新技術を中心とした開発投資及び生産設備の充実などに活用し、市場競争力を強化してまいります。なお、来期の1株当たりの配当予想は、25円(年間配当50円)でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

受注構成(業種別)



※金額ベース ※機械本体のみ



* Small and Medium-sized Enterprises

地域別受注・売上構成



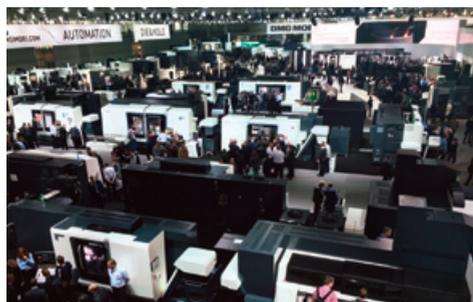
※金額ベース ※機械本体のみ



2017年9月

EMO Hannover 2017に出展

2017年9月18日～23日に独国・ハノーバーにて開催されたEMO Hannover 2017に出展し、世界初披露の8機種を含む全75台を展示いたしました。展示機半数以上は、周辺機器と組み合わせた自動化ソリューションとして展示いたしました。カールツァイス社やデュル社などと提携し、ADAMOS(ADaptive Manufacturing Open Solutions)の設立を発表しました。ADAMOSは、オープンな産業用IoTプラットフォームサービスを提供する企業として、どのベンダーからも中立の立場で最新のIT技術と業界知識の融合を推進します。また、アディティブマニファクチャリングエリアでは、パウダーベッド方式とパウダーノズル方式の両技術を披露いたしました。この新しい加工法を紹介するエリアでは、実際に加工された多くのワークを展示し、お客様に触れていただくことで、当社の機械で実現できる加工の幅広さをアピールいたしました。2018年1月31日～2月3日にかけて開催した当社最大の自社展フロンテントオープンハウスも好評を得ました。2018年上半年には伊賀イノベーションデイズの開催や、INTERMOLD 2018への出展を控えており、本年も新機種・新技術の初披露を多数予定しております。



2017年10月

DMU 50 3rd Generationを販売開始

自社開発の高性能主軸を搭載した高精度5軸制御マシニングセンタDMU 50 3rd Generationの販売を開始いたしました。最高回転速度15,000 min-1のspeedMASTERを標準搭載し、111/85 N・mの高トルクを実現。当社従来機比で切削能力を50%向上しています。さらに、フルクローズドループ制御(スケールフィードバック)を全軸標準装備することで、位置決め精度6 μm以内を実現。X/Y/Z軸をモータ直結で駆動することで、早送り速度42 m/minを達成しており、高速・高精度な加工を実現いたします。



5軸制御マシニングセンタ
DMU 50 3rd Generation

2017年7月

先端技術研究センター始動



2017年7月、東京グローバルヘッドクォータにてオープンしたこの研究センターでは、機械学習のプログラミング、IoT、ネットワーク、クラウド、英語などの知識習得を目指して、次世代の新たな価値を創造する高度人材を育成しています。若手社員対象の公募や、関東地区をはじめとする優秀な学生の長期インターンシップ受け入れにより、今後も規模を拡大する予定です。センター長である東京大学の松島克守名誉教授の指導のもと、業種の垣根を超えて連携するオープンイノベーションを担う人材を育成してまいります。

2018年1月

主軸3年保証サービス開始

より安心・安全かつ快適に製品をお使いいただくために、全世界で生産・販売するDMG森精機製の工作機械に搭載されている主軸「MASTERシリーズ」について、2018年1月から3年間の無償保証サービスを開始いたしました。

今回対象となる「MASTERシリーズ」には、重切削に最適なpowerMASTER、高速マシニング加工用のspeedMASTER、複合加工機専用のcompactMASTER、ターニングセンタ用のturnMASTERの4種類があります。

高精度ターニングセンタ(旋盤)の製造開始以来培ってきた主軸内製の経験を活かして生産する「MASTERシリーズ」は、品質に自信をもってお届けしております。今後も多くのお客様のニーズにお応えできるよう、より高機能で信頼性が高い製品を、より良いサービスとともにご提供できるよう尽力してまいります。



powerMASTER

2018年4月

DMG MORI保育園オープン



DMG MORI保育園 外観

2018年4月に伊賀・奈良事業所、名古屋本社、東京グローバルヘッドクォータにて、社内託児所を開設いたします。これまでも2016年より、国内全事業所にて週末の出勤日に限定し社内託児所を開設し、未就学児を持つ社員の活躍を後押ししてまいりましたが、利用者からの声を受け、創業70周年の節目を迎える2018年より、社内託児所を常設することとなりました。今後も社員のワークライフバランス向上を推進してまいります。

全世界でお客様をサポートしています。

全世界の
セールス&
サービス

43 カ国 157 拠点

- セールス&サービス
- グループ会社
- 生産拠点



グローバル
ヘッドクォーター

DMG MORIのセールス・サービス・マーケティング・経理財務・人事を統括するグローバル本社です。



1 東京

ナショナルヘッドクォーター

ドイツ

DMG MORI AGの本社として機能します。



2 Bielefeld

日本

DMG森精機の本社として機能します。



3 名古屋

開発・生産（日本）



4 伊賀



5 奈良
奈良システムソリューション工場

開発・生産（ドイツ・イタリア・ポーランド・アメリカ・中国・グループ会社）



6 Pfronten(ドイツ)



7 Seebach(ドイツ)



8 Bergamo(イタリア)



9 Pleszew(ポーランド)



10 Davis(アメリカ)



11 Tianjin(中国)



12 太陽工機(新潟)



13 マグネスケール(神奈川)

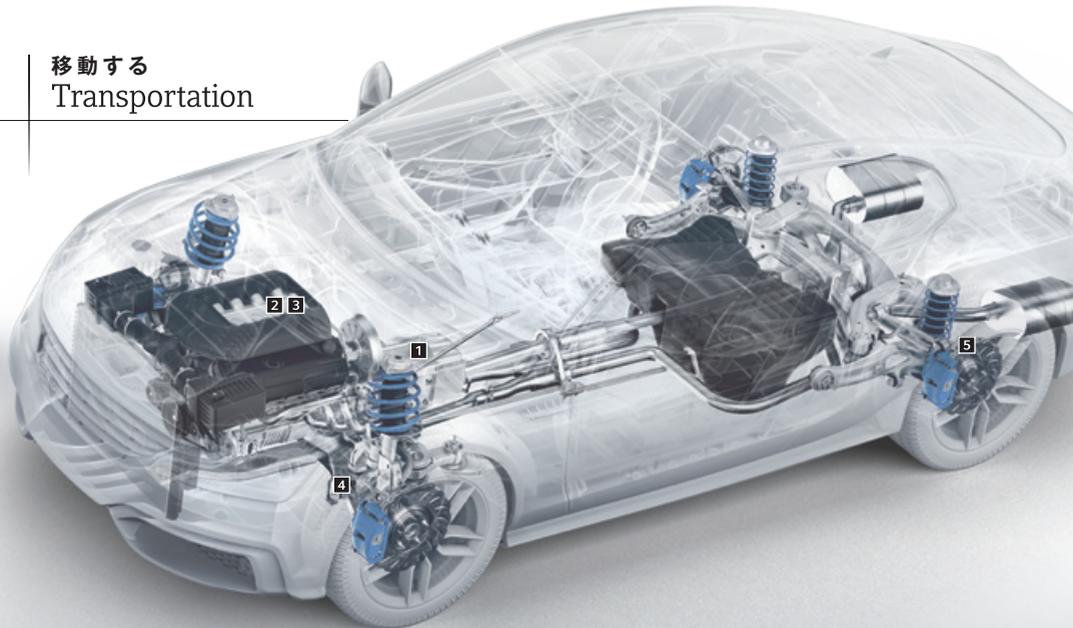
※主要開発・生産拠点、他数ヶ所

この世界にDMG MORI

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。そしてそのすべての人間活動に工作機械は欠かせません。例えば、自動車は工作機械が削り出した多数の部品で構成されています。また、ペットボトルは工作機械によって削られた金型に原料を流し込んで生み出されています。このように、一見関係がないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば工作機械が関わっています。工作機械の進化によって、私たちの生活はより豊かになります。



移動する Transportation



1 ZF 8HP ギヤボックスハウジング



2 シリンダブロック



3 クランクシャフト

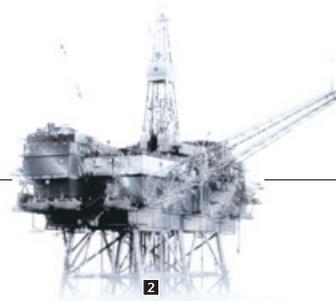


4 CVJ インナーレース



5 ホールハブ

住む Living



1 タービンブレード



2 ドリルヘッド

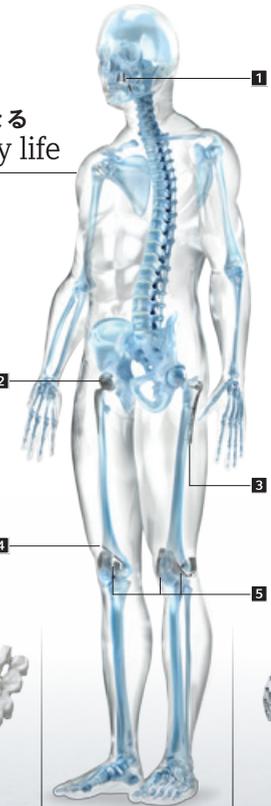


3 建機部品



ポンプハウジング

健康になる Healthy life



1 義歯



2 ソケット



3 股関節



4 骨ねじ

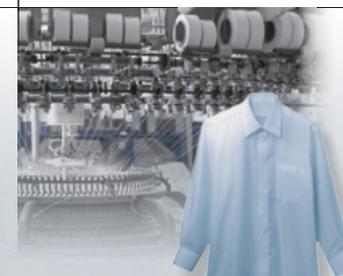


5 膝関節

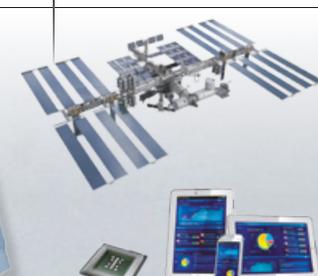
食べる Food



着る Garments



知る Information



連結財政状態計算書

(単位:百万円)

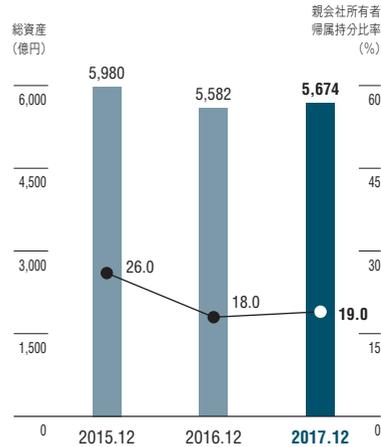
科目	前期	当期
	2016年 12月31日現在	2017年 12月31日現在
流動資産	259,983	267,979
非流動資産	298,238	299,431
有形固定資産	137,441	133,983
のれん	65,641	73,347
その他の無形資産	66,346	69,315
その他	28,810	22,786
資産合計	558,222	567,411
流動負債	180,261	159,958
非流動負債	275,477	297,433
資本合計	102,482	110,019
負債及び資本合計	558,222	567,411

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自2016年1月1日 至2016年12月31日	自2017年1月1日 至2017年12月31日
収益合計	385,806	441,692
売上収益	376,631	429,664
その他の収益	9,175	12,028
費用合計	383,845	412,301
商品及び製品・ 仕掛品の増減	5,604	5,578
原材料費及び 消耗品費	165,662	189,000
人件費	114,121	120,728
減価償却費及び 償却費	17,691	18,344
その他の費用	80,765	78,650
営業利益	1,961	29,391
税引前当期利益又は 損失(△)	△ 1,064	24,803
当期利益又は損失(△)	△ 5,749	15,676
親会社の所有者	△ 7,826	15,263
非支配持分	2,077	412

総資産／親会社所有者帰属持分比率



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自2016年1月1日 至2016年12月31日	自2017年1月1日 至2017年12月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	18,237	31,423
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,008	△ 1,387
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 18,376	△ 37,726
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	△ 5,678	4,913
現金及び 現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 15,826	△ 2,777
現金及び 現金同等物の 期首残高	83,577	67,750
現金及び 現金同等物の 期末残高	67,750	64,973

詳しい解説は「連結決算Q&A資料」より
ご覧いただけます。

DMG森精機 投資家

検索

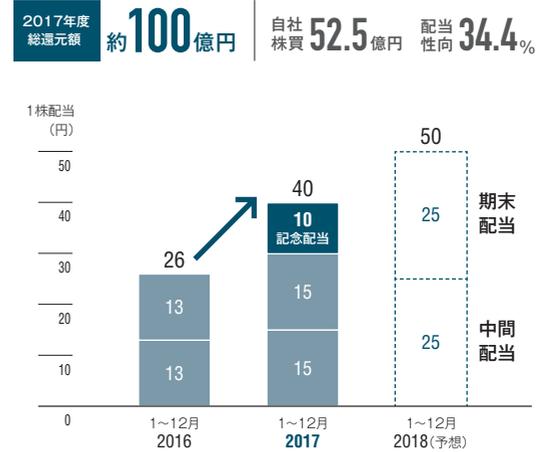
<https://www.dmgmori.co.jp/corporate/ir/>

創立70周年記念配当による配当の増額について

配当性向については、受注の拡大、採算の改善、
運転資金の管理徹底により資金創出力が高まって
きていることから、30%程度が妥当な水準であると
考えております。

2017年度は創立70周年記念配当を含めた年間
配当金は1株当たり40円、配当金総額は48.7億円、
配当性向は34.4%でした。また、自己株式の買い
入れを52.5億円実施したため、2017年度の株主
還元総額はおよそ100億円でした。

なお、2018年度は年間配当金を1株当たり50円と
予想しており、その場合の配当性向は31.9%と
なる見込みです。



工作機械の省エネは世界の環境を変える

もともと工作機械は地球環境を汚さない、クリーンな機械です。使用年数が15～
20年と長い分、省エネの効果は長期にわたり影響します。納入実績15万台以上の
当社では、製品そのものの電気消費量削減、工場の省エネルギー化で、工作機械
1台あたり年間2,650kgのCO₂を削減し、地球環境保護に努めてきました。さらに
2015年からは梱包・物流改革を行い、生産工程やサプライチェーンでのさらなる
廃棄物低減やCO₂削減に取り組んでいます。これまで機械輸送時に一度だけ
使用され、その後廃棄処分されていた木材での梱包を見直し、海外輸送には
リターンパレット、国内輸送にはスチール梱包に変更いたしました。また、
関東・関西・東海・北陸エリアに点在するパートナー約90社の生産部品を集約し、
専用トラック便での輸送を行っております。パートナー各社の単独輸送と比べ、
大幅なCO₂排出量削減を達成しました。

なお、今後は伊賀・奈良を中心に、環境保全に加えた景観美化活動も積極的に
進めてまいります。

工作機械の使用年数は
15～20年!

20年後にはトータル

800万トン
以上の削減効果

工作機械1台あたりのCO₂削減量

年間 **2,650kg***

* 2012年度の事業者別排出係数等一覧にお
ける中部電力株式会社の数値にて算出

株主様向け

伊賀事業所見学会のご案内

見学会では、最新鋭の工作機械をご覧いただけるだけでなく、オペレーターによる機械の説明とともに実際の実演加工もご覧いただくことができます。皆様のご応募をお待ち申し上げております。



写真は東京グローバルヘッドクォータ開催時の様子です。

日時 **2018年5月30日(水) 11:30~14:30**

見学場所	伊賀事業所 グローバルソリューションセンター 組立工場 〒519-1414 三重県伊賀市御代201番地
参加費	無料 (ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担をお願いいたします)
募集対象	2017年12月31日時点で当社株式を100株以上保有する方 (同伴者1名可、小学生以上に限る)
募集定員	80名 (応募多数の場合は抽選とさせていただきます)
交通	バス(名古屋駅、新大阪駅⇄伊賀事業所)もしくは自家用車
備考	昼食をご用意しております

申し込み方法

左記のQRコードもしくは下記のURLからのお申し込みのみとさせていただきます。
<https://www.dmgmori.co.jp/sp/irtour/>



申し込み期間

2018年 3月23日(金) 9:00 ~ 4月12日(木) 17:00
抽選結果は4月26日(木)に、当選者の方にのみメールにてご連絡します。
(落選の場合はご連絡は差し上げません)

お問合せ

DMG森精機株式会社
広報グループ E-mail : users@dmgmori.co.jp

会社の概要

2017年12月31日時点

会社名	DMG森精機株式会社
資本金	51,115百万円
設立	1948年10月
本店(登記上)	〒639-1160 奈良県大和郡山北郡山町106番地 TEL : 0743-53-1125(代)
名古屋本社	〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16 TEL : 052-587-1811(代)
東京グローバルヘッドクォータ	〒135-0052 東京都江東区潮見2丁目3-23 TEL : 03-6758-5900(代)
主な事業内容	工作機械(マシニングセンタ、ターニングセンタ、複合加工機、5軸加工機及びその他の製品)、ソフトウェア(ユーザインタフェース、テクノロジーサイクル、組込ソフトウェア等)、計測装置、サービスサポート、アプリケーション、エンジニアリングを包括したトータルソリューションの提供
従業員	12,375名(連結)
ホームページ	https://www.dmgmori.co.jp

株式の状況

2017年12月31日時点

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数	120,918,518株(自己株式5,035,165株を除く)
単元株式数	100株
期末株主数	28,884名

大株主

2017年12月31日時点

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,942	4.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,108	3.40
森 雅彦	3,540	2.93
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	3,526	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(森記念製造技術研究財団口)	3,500	2.89
DMG森精機従業員持株会	2,651	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,645	2.19
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY (常任代理人 香港上海銀行)	2,324	1.92
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,232	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,087	1.73

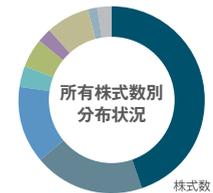
(注)1.当社は、自己株式(5,035,165株)を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員

2018年3月22日時点

取締役社長	※ 森 雅彦
取締役副社長	※ 玉井 宏明
取締役副社長	※ 小林 弘武
専務取締役	高山 直士
専務取締役	大石 賢司
取締役	青山 藤詞郎
取締役	野村 剛
取締役	中嶋 誠
取締役	御立 尚資
常勤監査役	近藤 達生
監査役	木本 泰行
監査役	土屋 総二郎

(注)1.※印は、代表取締役を示しています。
2.取締役の青山藤詞郎、野村剛、中嶋誠、御立尚資の4名は、社外取締役です。
3.監査役の木本泰行、土屋総二郎の2名は、社外監査役です。



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金 受領株主確定日	12月31日
中間配当金 受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-782-031(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話：0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.dmgmori.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<https://www.dmgmori.co.jp/>

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しています。
製品紹介、各種リンク、サポート情報などを掲載しているほか、
コーポレートサイトでは決算短信などもご覧いただけます。



TOPページ



コーポレートページ

Facebook 毎日更新中!



いいね!

お待ちしております。

